



校訓：磨きあえ心 学びあえ知 鍛えあえ体

意志あるところに道は開ける

修学旅行と職場体験学習が終了しました。9月も下旬に入り、あっという間に過ぎようとしています。特に2年生は職場体験学習を終えて、将来への目標が明確になったり、未来への期待が高まったりしているのではないのでしょうか。目標を持ち、その実現に向けての努力と工夫が必要です。努力というのは時間をかけることであり、工夫というのは、その質を高めることと言い換えていいと思います。意思の集中と継続が、夢を実現させる道だと思います。毎日の学校生活を充実したものにしてほしいものです。

〈家庭学習の正しい進め方〉

○覚えている漢字や英単語より、覚えていないものを練習しよう！

担任の先生方とお話をしてみると、家庭学習の工夫が必要であることがわかってきました。例えば、3年生が1年生の4月に習った簡単な英単語を何度も書いているようでは、本当にこの学習は必要なのか？と疑問に思います。また、1年生の廊下や2年生の教室には効果的な家庭学習のお手本が掲示してあります。ぜひ一度まねをしてみましょう。

○その日に学習したことを振り返ろう。

例えば、数学であるなら、その日に学習した問題を家庭学習ノートに書き写して、もう一度解いてみる。理科なら、ワークの答えの部分を隠して、問題を解いてみる。英語はその日に学習したことを5回音読して、学習した英文を言いながら書いてみるなど。1ページ30分程度で終わる内容を工夫してみましょう。

○各教科の確認テストや小テストにはきちんと学習して臨もう！

各教科でいろいろなテストが行われています。先生方はみなさんの理解度を確かめ、次の学習への手立てを考えています。部活動などと家庭学習の両立は大変だと思いますが、計画的に学習を進めていくことは大切です。高い意識を持って小テストなどに取り組み、力を伸ばしてください。

〈人間の記憶の仕組みとは〉

○48時間後にはほとんど残らない。

人間の記憶は、一度勉強しただけの内容は48時間で7割ほど忘れます。つまり、記憶を定着させるためには繰り返しの学習が必要なのです。テストに出題される内容を家庭学習で勉強しておけば、テスト前に復習するだけで自然に繰り返し学習をしたことになります。その結果、成績が伸びるのです。

○時間をかけて覚えたほうが長期記憶になる

定期テストで覚えた内容は高校入試にも出題されます。今覚えた知識は何か月も先に必要な知識です。テスト前に一気に覚えた知識は、すぐに忘れます。これを防ぐためには家庭学習を十分に行い、長い時間をかけて暗記していったほうがいいのです。

